



おめでとうござります!!



祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.12



みやぎSDGs Farm



みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。



詳しくはこちらから

賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]

河北新報社営業局

TEL. 022-211-1318

☑ koukoku@po.kahoku.co.jp



私の目標は「一人に
関心のない人間から
人から感心される人
間になる」です。

SDGsと聞くと大きなことで自分ごと
に聞かれないかもしれません。実際に私も
その一人でした。

当社のSDGsに資する取り組みである
Maii(マイイ)は、困っている人
と手助けができる人をつなぐ助け合いの
マッチングアプリです。「みやぎSDGs
塾」でMaiiを紹介する際、日本は「見
知らぬ人への手助け世界ランキング」で
「138位/140カ国中」とほぼ最下位である事
実に衝撃を受けました。私自身これまで
困っている方に気づくことができていま
ませんでした。



「他人ごとにしな
い。日々の生活の何
気ない行動がSDG
sにつながる」。「み
やぎSDGs塾」に参加して印象に残った
ワードです。

身近なことからこそ、普段から意識づ
けることで少し未来をよへることができ
る。「SDGsを身近なものにしよう」と
家族に伝え、一緒に動き始めました。

我が家は妻と娘の3人家族。家族会議で、
「娘が好きなアンパンマンのパンよりも、
賞味期限が近く値引きされたパンを選ば
う」と提案しました。決してお得だからで
はなく(それもちょうとありますが…)、
フードロスの観点からです。4歳の娘は大
反対。「もったいないからだよ」と伝えて



皆さんは、仕事
にどれくらい「SD
Gs」を意識してい
ますか?

私は約2年間の妊娠・出産を経て職場復
帰をした2022年5月、衝撃を受けまし
た。社会を取り巻く環境が変化し、SDGs
に対する認識が大きく変わってきたのです。
それまでは、興味・関心を持っている一
部の人が積極的に取り組んでいると思っ
ていたSDGs。今では、企業・個人それぞ
れが課題意識を持ち「ジブンゴト」として
取り組まなければならないものとして、広
く認知されてきています。

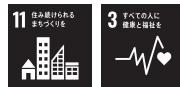
当社も同じです。2022年3月、国内
外グループ会社向けに実施したアンケート
で、97.7%もの社員が「SDGsと自身

無関心。それは見えない魔物?

大日本印刷 森勇大さん

しかし、Maiiの紹介を重ねていく
につれ、いつしか車いすの方などの日常の
中で困っている方々に気づく機会が増
え始め、声をかける行動に移せた時もあり
ました。意識が変わり始め、気づきにつな
がり、行動が変わり始めたと感じています。
このような経験から、SDGsは身の回
りの小さな「関心」から始められる取り組
みだと思っています。些細なことでも関心を持
つことで、自分ごと化され、意識が変わり、
行動が変わる。この意識変容の循環の仕組
みを築き、広めたいです。

「無関心」という見えない魔物
を倒すことでさまざまな社会課
題の解決の一途を辿り、社会と
人から「感心」される人間を目
指します。



11 住み続けられるまちづくりを



3 すぐくの人に健康と福祉を

我が家の大作戦

宮城県民共済生活協同組合 多勢剛さん

拒否権を行使する娘に、妻が流したDV
Dで空気が一変。映し出されたのは「かい
じゅうステップSDGs大作戦(かわいい
かいじゅう達がSDGsをわかりやすく教
えてくれるアニメ)」でした。それを観て
一転、賛成票を投じる娘。

かいじゅう達は教えてくれました。子ど
もには理屈よりも、楽しい映像やわかりや
すい表現が有効なことを。SDGsとは「せ
かいじゅうの だれだって げんきにし
ちゃう さくせん」だったのです。

可決された我が家のSDGs
宣言は「フードロスから世界と
家計を元気にしちゃう大作戦!」
なのです。



17 持続可能な消費を促進しよう



12 つくばる責任を循環させよう

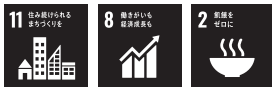
SDGsを「ジブンゴト」に

リコージャパン 工藤千穂さん

の業務のつながりを感じている」と回答。
営業活動にSDGs視点を盛り込むこと
で、提案の質がグッと上がり、ただの「モ
ノ売り」ではなく、企業の経営課題を解決
する「コト売り」へ変化が進みました。

仕事の中でSDGsを感じることで、自
然と普段の生活の中でも意識するようにな
ります。「節電する」「資源を無駄にしな
い」など当たり前のごとですが、意識をする
ことが大切だと実感しました。

これからは、次世代の人たち
と共に取り組むことが必要にな
りますので、まずは息子と娘と
一緒に「ゴミの分別から始めてみ
ます。その積み重ねが子供達の
明るい未来につながることを
願っています。



11 住み続けられるまちづくりを



8 働きがいも経済成長も



2 豊かさを後世に